

「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」 (第1基) の運転開始について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスピー エナジー）」）は、「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」第1基の営業運転を2013年8月23日より開始します。

「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」は、栃木県が所有する矢板市内の矢板南産業団地第1街区において、2013年2月に施工を開始し、出力規模は約3,000kW（約3.0MW）、年間予想発電量は一般家庭約845世帯分の年間消費電力量に相当する約304万kWhを見込むメガソーラー発電所となります。

さらに隣接する場所に、出力規模は約1,600kW（約1.6MW）、年間予想発電量は一般家庭約456世帯分の年間消費電力量に相当する約164万kWhを見込む第2基の建設を進めており、2013年12月下旬の運転開始を目指しております。

「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」の概要は以下の通りです。

■ 「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」第1基

所在地	栃木県矢板市こぶし台1番3
敷地面積	約3万6,000㎡
出力規模（太陽電池容量）	約3,000kW（約3.0MW）
年間予想発電量	約304万kWh/年 一般家庭約845世帯分の年間電力消費量に相当
運転開始	2013年8月23日（金）



■ 「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」第2基（予定）

所在地	栃木県矢板市こぶし台1番4
敷地面積	約2万2,000㎡
出力規模(太陽電池容量)	約1,600kW（約1.6MW）
年間予想発電量	約164万kWh/年 一般家庭約456世帯分の年間電力消費量に相当
運転開始	2013年12月下旬

SB エナジーは今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。